

令和3年度土木学会 研究討論会【チャンネル-4】

**1 F事故廃棄物・汚染廃棄物対策
及びL3廃棄物処分方策の調査報告**

＜座長＞

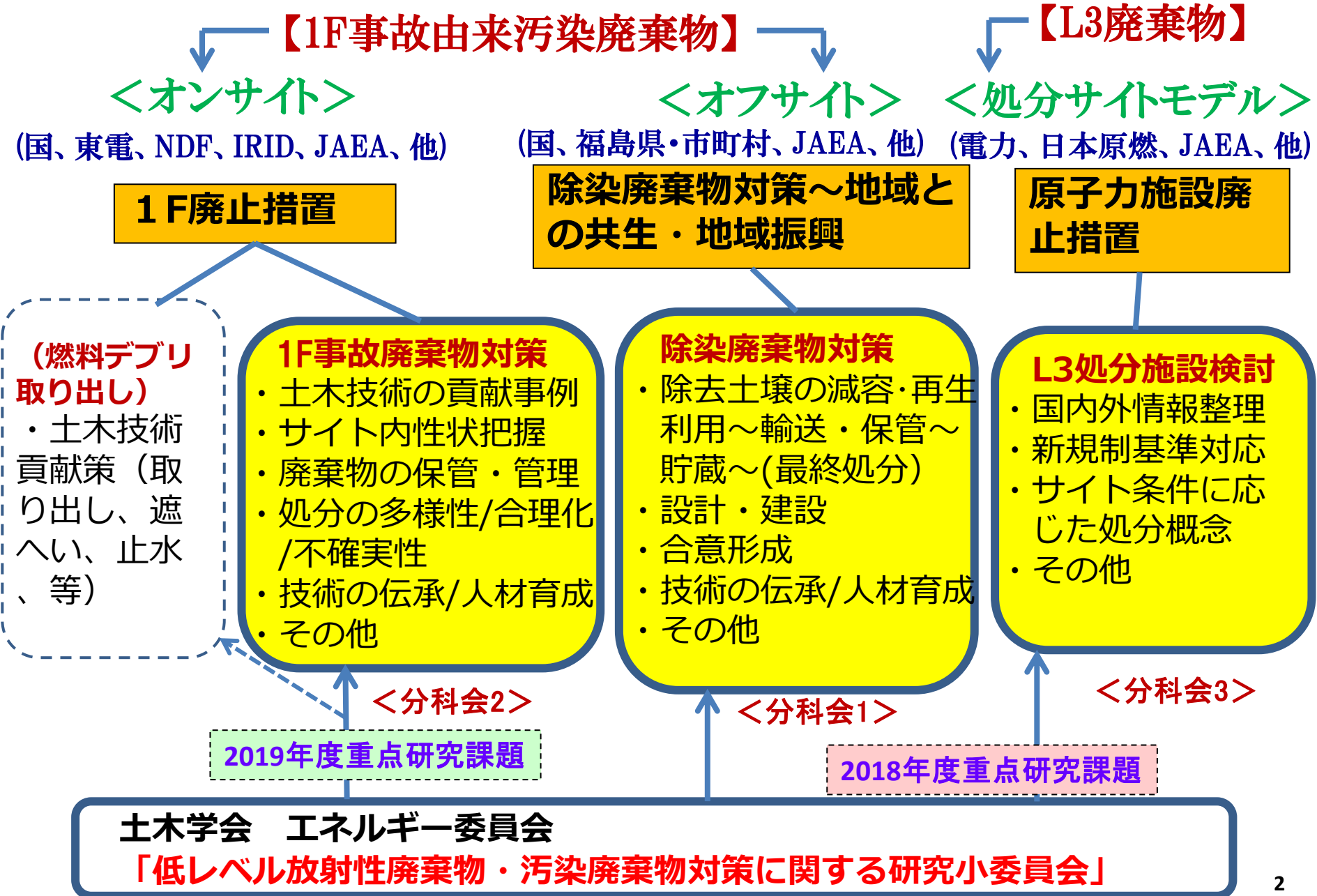
大西 有三

(京都大学名誉教授)

土木学会 エネルギー委員会

低レベル放射性廃棄物・汚染廃棄物対策に関する研究小委員会委員長

放射性廃棄物・汚染廃棄物対策への土木学会の今後の取組み



本研究討論会の背景と主旨(1/2)

【背景】

- 電力福島第一原発(以下、1F)事故から10年が経過した。
- その後、原子力発電所の再稼働は必ずしも順調とは言えず、本年7月初め現在で、再稼働に至ったのは10基で、設置許可を得たのは6基と16基は再稼働もしくはその方向で動いているものの、新規規制基準対応での審査中が11基、未申請のままが9基と約20基が決まっていない状態。
- 一方、廃止措置中および廃止措置が決定している原発は、東電H Dの福島第一原発と第二原発の合わせて10基も含めると、既に廃炉中もしくは廃炉が決定したものは合計24基に達している。

【本研究討論会の主旨】

- 一方、福島県内の除染廃棄物対策としての中心的な役割を担う、中間貯蔵施設への除去土壌等の搬入が既に始まっているが、これまでのそれらの除染廃棄物対策の取り組みの技術的な内容について調査と体系的な取りまとめ検討を行っており、これらの活動状況を紹介する。 (分科会 1)

本研究討論会の背景と主旨(2/2)

【本研究討論会の主旨】

- 1F事故後の緊急時対応、汚染水対策や事故廃棄物対策等が、また福島県内では除染廃棄物等への様々な対策が講じられており、土木技術分野でも様々な取り組み等がなされてきた。それらの取り組み状況を調査し、体系的な整理を行った成果を報告書に取りまとめ、その公表に向けた準備を進めている。それらの成果取りまとめの概要を報告する。 (分科会2)
- さらに、原子力発電所の廃止措置に進む中、今後、その廃炉に伴って発生する低レベル放射性の中でも、極めて放射のレベルの低い、L3廃棄物の処分方策に関しては、各発電所の環境条件に応じたやり方で、かつ厳しくなった新規制基準に適合するように進めていく必要があるので、諸外国での事例や新規行い、制基準に対応したL3処分施設の設計概念の考え方等の調査検討成果の取りまとめ公表の準備状況を報告する。 (分科会3)
- さらに、L3廃棄物等の浅地中処分施設の検討は研究所施設等から出てくる低レベル放射性廃棄物等を対象として具体的な処分概念等の検討が進んでおり、それらの日本原子力研究開発機構における検討事例を報告する。

(分科会3の関連)

座長および話題提供者

<座長>

大西 有三 京都大学 名誉教授

(土木学会 エネルギー委員会 低レベル放射性廃棄物・汚染廃棄物対策に関する
研究小委員会(以下、LLW研究小委) 委員長)

<話題提供者>

土 宏之 清水建設(株) 土木技術本部

(LLW研究小委 分科会 1 主査)

白土 博司 東電設計(株) 社会基盤ユニット ジオフロント本部

(LLW研究小委 分科会 2 主査)

坂井 章浩 日本原子力研究開発機構 バックエンド統括本部 埋設事業センター

(LLW研究小委 分科会 3 幹事)

河西 基 (株) アサノ大成基礎エンジニアリング/(一財)電力中央研究所
(LLW研究小委幹事長, 合同分科会代表幹事)

話題提供プログラム

(1) 土 宏之 <清水建設(株)、分科会1(除染廃棄物対策) 主査>

「中間貯蔵施設等の除染廃棄物対策の取り組み状況に関する調査活動概要報告」

(2) 白土 博司 <東電設計(株)、分科会2(1F事故廃棄物対策) 主査>

重点研究課題報告書「2011年 東京電力福島第一原子力発電所事故後における土木技術等の貢献事例の体系的整理－事故時の緊急時対応、汚染拡大防止対策等への技術蓄積の整理・体系化－」(案)の成果概要報告

(3) 苅込敏・野口裕史 <日本原子力発電(株)、分科会3主査・副主査>、河西基 <(株)アサノ大成基礎エンジニアリング／電力中央研究所、研究小委幹事長>

重点研究課題報告書「新規規制基準に対応した極低レベル放射性廃棄物処分施設概念と設計の考え方に関する研究：(第1分冊)「諸外国における極低レベル放射性廃棄物を取り扱う処分場に関する調査」／(第2分冊)「類型化された地形・地質環境条件に応じたL3埋設施設概念検討：設計概念」の報告書公開準備状況報告

(4) 坂井 章浩 (日本原子力研究開発機構、分科会3幹事)

「日本原子力研究開発機構における研究施設等廃棄物(低レベル放射性廃棄物)の浅地中埋設処分方法に関する技術検討状況報告」(関連報告)

(5) 河西 基 (アサノ大成基礎エンジニアリング／電力中央研究所、研究小委幹事長)

「低レベル放射性廃棄物・汚染廃棄物対策に関する研究小委員会における活動状況と今後の計画について」